

第3回中小企業向け事業引継ぎ検討会 議事要旨

日時：平成27年2月16日 16:00～18:00

場所：別館1階 104共用会議室

出席者：山本委員(座長)、飯野委員、石塚委員、榎本委員、太田委員、金子委員、河原委員、久保委員、小林委員、塩野委員、清水委員、高井委員、田中委員、玉越委員、堤委員、根津委員

議事概要

- ・事務局から、事業引継ぎガイドライン(仮称)、パンフレット等について説明を行い、自由討議が行われた。自由討議の概要は以下のとおり。

1. 事業引継ぎガイドライン(仮称)について

- ・会社と同様に個人事業主についても「現状把握」や「磨き上げ」は必要であり、その旨言及してはどうか。
- ・決算書の吟味におけるチェック項目中に、「経営者に対する過大・過小な勘定はないか」というのがあるが、他方で役員報酬が多い企業は良い企業という見方もある。金額が大きいところは悪い企業という印象にならないようにしてほしい。また、時価ベースでの純資産を把握するだけでなく、実態的な収益性についても把握する必要がある。
- ・契約書の雛形等があれば使いやすいのではないか。
- ・ガバナンス(内部統制)とあるが、ガバナンスと内部統制の概念が違う。
- ・必ず外れるわけではないが、M&Aのメリットに経営者の債務保証が外れるという記載も入れてはどうか。

2. パンフレットについて

- ・ガイドラインの流れと揃えて作成した方が良いのではないか。
- ・経営者の方に手にとってもらえるような工夫が必要。
- ・具体的な事例を多く入れた方が良く思う。
- ・「M&A」という名称を副題に入れてはどうか。
- ・売却するという決断が出来ない人も多い。結論は売却・譲渡ということを理解してもらうことが重要。
- ・会社を存続成長させるための事業の譲り渡し・譲り受けはどうか。
- ・日本版、中小企業型、事業承継型というのはどうか。